

三浦義建

みうら・よしたつ

福山県権大参事、芦田・品治・神石・甲奴郡長、衆議院議員

経歴

生:天保11年(1840年)ごろ

没:明治23年(1890年)10月2日、享年51歳

慶応4年(1868年)1月	28歳	官軍(長州藩)と和議
明治4年(1871年)7月14日	31歳	廃藩置県のため福山藩から福山県へ、福山県大参事
明治13年(1880年)	40歳	請願書を広島県会・内務省へ提出
—	—	芦田・品治・神石・甲奴郡長
明治18年(1885年)11月27日	45歳	福山教育義会幹事委員兼地方幹事会議事取纏め
明治20年(1887年)5月13日	47歳	福山教育義会商議委員
明治20年(1887年)	47歳	正八位
明治23年(1890年)	50歳	衆議院議員(広島県)

生い立ちと学業、業績

三浦仁左衛門の次男、長じて600石取りの重臣。名は隣雄、岬。

幕末、長州軍の福山城攻撃に際して、単身馬を飛ばし水呑町妙見山下のお菊茶屋で、のちの元勲井上馨(今出頑八)と直談判をする。自ら正使となり、副使の関藤藤陰を従えて和平を交渉した。この交渉が成立し、福山を戦火から救うきっかけとなった。

明治23年(1890年)当時、芦田・品治・甲奴・神石の郡長を勤めていた。
また福山教育義会商議委員として誠之館の存亡の危機に際しては大いに貢献した。

第1回衆議院議員普通選挙が実施されるや、その選挙戦に出陣し見事当選を果たした。しかし、不運にも直後福山で猛威を振るっていたコレラに罹り、急逝した。享年51歳。

写真提供(*1)＝鈴木康平氏(昭和23年卒)

出典1:『誠之館百三十年史(上巻)』、192・242・325・443・445・461・490・572 頁、福山誠之館同窓会編刊、昭和63年12月1日

出典2:『福山の今昔』、40頁、濱本鶴賓著、立石岩三郎刊、大正6年4月26日

出典3:『人間シリーズ クローズアップ備陽史』、76頁、田口義之著、福山商工会議所刊、平成15年8月

出典4:『広島県人』、210頁、村上正名著、新人物往来社刊、昭和48年8月25日

2005年2月2日更新:名前●2006年3月30日更新:本文●2008年7月29日更新:経歴、本文●2009年7月31日更新:写真提供、出典●2010年3月9日更新:経歴、出典●2010年11月11日更新:本文、出典●2011年8月3日更新:写真コメント、本文、出典●